

# 東邦キャンパス

平成 27 年 (2015 年) 7 月 16 日

発行 学校法人 東邦学園

〒465-8515 名古屋市名東区平和が丘三丁目11番地

TEL 052 (782) 1241 FAX 052 (781) 0931

 H P  検索
   
 愛知東邦大学
   
 東邦高等学校


## ブラスの響き 世界舞台へ

2016年早々、世界屈指の規模で繰り広げられるローズパレード(米ロサンゼルス近郊・パサデナ)に、アジア代表で出場する東邦高校吹奏楽部と愛知東邦大学吹奏楽団。5月26日、主催者のマイク・マテセン協会長夫妻が学園を来訪し、楽員は総出で歓迎しました。

(上の写真・詳しくは5ページ)

## 世界とつなぐ 国際ビジネス学科

右の写真は、愛知東邦大学が来年4月新設する国際ビジネス学科の模擬授業の様子です。7月5日のオープンキャンパスでは、講師のPIAプログラム担当ジェフ・シンディングさんが、日常生活を題材に、日本にいながらにして生きた英語を学ぶ楽しさを講義。本学に関心を寄せる高校生は熱心に聞き入っていました。(詳しくは4ページ)



# 新学長インタビュー

## 小さい頃の様子は？

生まれたのは1951年、知多市長浦です。戦時中、空襲を避けて名古屋から移った両親と兄二人、祖父(学園初代理事長・下出義雄)、祖母らがそのまま暮らしていました。戦後米国人の神父が長浦にカトリック教会を開いて、集落の中心に教会があるといった雰囲気の中で生まれ、生後2週間で洗礼を授かりました。

3歳前に移った名古屋は、目の前が東邦高校硬式野球部の八事グラウンドで、もの心ついた時には球音を聞き、いが栗頭の選手が監督にバットで叩かれる姿も見ました。

病弱で幼稚園にも行かず、小学低学年は教室での記憶がかすかです。ある日担任の渡辺先生が家まで来られ、紙の十円玉と百円札でおカネの数え方を教えて下さいました。怖そうな女の先生でしたが、一生忘れない思い出です。

中学では吹奏楽で習ったフルートで、菊里高校音楽科を受験するよう先生に一時勧められました。「音楽はいいが、他教科が悪いから」という理由です。ひょっとしたら音楽の道に進んでいました。

## 新聞記者を32年間務めたのですよね。

小学校の頃の60年安保のせいなのか、ずっと社会への関心が高く、テレビのドキュメンタリー番組が好きでした。法律を通じて社会と関わろうと大学は法学部に進みました。でもコーラスに熱中、司法試験は1回で諦めました。1カ月半の猛勉強で合格できたのが毎日新聞社でした。

伊勢支局を振り出しに名古屋で事件・事故、行政取材を続け、35歳で政治部に移って、総理番を務めました。当時は首相の脇を歩きながら取材できたので、中曽根首相の足を踏んづけたこともあります。50歳から社説を書いたりもしました。

## 学園では理事長を務め、なぜ自ら進んで学長にも？

曾祖父から始まる93年目の学園の歴史を絶やすまいと。愛知東邦大学の声価を高め、学生が納得いく4年間を送れるよう、総力を傾ける時期だと思うからです。自分が学園の背骨にならなければと考える日々です。

愛知東邦大学  
榎 直樹 学長  
(東邦学園 理事長)

# 新校長インタビュー

## どんな少年でしたか

学校から帰ると近くの子(地域の子どもが少なかったので年齢にバラツキあり)と、公園に集まり、日が暮れるまで遊んでいることが多かった。小学校は1学年1クラスの小さな学校で、春はソフトボール、冬はサッカーの中心選手として活躍。我が家は父親が亡くなる小学校6年まで酪農家でした。そのため牛の餌やりや糞の片付けを手伝いお小遣いをもらっていました。

## どんな学生時代でしたか

中学は1学年17クラスのマンモス中学校でした(面食らう)。中学から軟式テニスを始め、部室でラケットを楽器にみたくて大合唱。ただし練習はきっちり。高校時代はダブルスでインターハイに出場。高校3年、大学受験に失敗。親に頼んで塾通いしました。大学(名古屋)時代は自宅(豊橋)から毎日片道2時間20分かけて通学した苦学生でした。

## なぜ教員になりましたか

中学時代も高校時代も軟式テニス部の顧問が、3人みんな数学の先生(高校の2人は後には2人とも校長)。小学校から算数・数学は比較的得意でした。軟式テニスの素晴らしさを生徒とともに一生分かち合えたらいいなと思い、教員を目指して大学に入学。体育教員も考えましたが水泳が苦手だったので数学教員を目指しました。

## 教員以外でなりたかった職業はなんですか

小さい頃はプロスポーツ選手にあこがれていましたが、本格的に職業を考えるようになった高校時代からは、教員しか頭にありませんでした。

## 好きなことは

ソフトテニス(中学から始めて44年。呼び方は軟式庭球→軟式テニス→ソフトテニスと変わりました)。インディアカ(夫婦で20年やっています)。木工細工(豊田市藤岡に引っ越して始めて24年)。和太鼓(藤岡に引っ越して14年くらいやっています。時間があればまたやりたい)。園芸(イノシシに荒らされるようになり2年前にやめました)。好きな言葉は「なせば成る

為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」です。

## 東邦高校をどんな学校にしたいですか

生徒諸君が何かにチャレンジし、将来への自信につながる経験を高校時代に送れるような学校にしたいですね。卒業しても母校を誇りに思い、先輩後輩や仲間同士の絆を大切に、社会の一員として信頼され真面目な生活をする生徒を育てる学校にしたい。



東邦高等学校  
佐々木 泰裕 校長



# 「国際ビジネス学科」

## いよいよ発進

文部科学省が設置届出を受理

愛知東邦大学が2016年4月開設を目指してきた経営学部の国際ビジネス学科について、文部科学省は6月、本学の設置届出を受理したことを公表しました。日本屈指の産業集積地である中部地区の中心地である名古屋市にキャンパスを構える本学で、中規模・中堅企業の海外事業を支援する「コア人材」の育成と、地域ビジネス発展への貢献を掲げた新たな教育がスタートします。

### 語学力と国際感覚を身につけ、社会で貢献できる人材を育成

グローバル化が進む現代社会において、海外と接点を持つ仕事は、決して商社や外資系企業、航空業界だけのものではありません。多くの国内の企業においても、海外の企業との取引や、多様な国から来た仲間と一緒に働く機会が増えています。そのため、いま企業からは社会人基礎力に加えて、「語学力」や「異なる社会や文化への理解力」「確かな教養」を備えた人材が求められています。

愛知東邦大学に誕生する国際ビジネス学科の教育

の特色は第1に、1、2年次における米国政府公認「PIA」と呼ばれる集中英語プログラムの活用です。PIA (Pacific International Academy)は、米国オレゴン州にある私立メリルハースト大学の英語を母国語としない人のための政府公認付属英語学校です。国際留学生向けに開発されたPIA独自のメソッドとプログラムが、ネイティブ講師によるレベル別少人数クラス制によって提供されます。

特色の2点目は、3年生時に開講される「海外インターンシップ」です。約3週間、主に中部地方企業の海外拠点となっている事業所において就業体験をします。日本を飛び出しての体験は、異文化社会の理解にもつながります。研修中のディスカッションはもちろん、事前・事後学習の充実で、成果を就職につなげていきます。

第3の特色は現場重視の実学教育です。国際経営に関するフィールド調査、海外ビジネス最前線で働くゲストスピーカーによる講義など、実際の就職活動において、外国人学生とのグローバルな競争にも負けない就業力の育成をめざします。

#### 国際ビジネス学科 4年間の流れと特色



#### 国際ビジネス学科 学びの特長

- POINT 1** **「海外インターンシップ」**  
約3週間程度、主に地元企業の海外拠点で海外インターンシップに挑戦。異文化社会で働くとはどういうことか、その問題とは何か、グローバル人材に求められる能力や資質は何か、といったことについて体験から学びます。
- POINT 3** **「地域企業フィールド調査」**  
地域の企業がグローバル化において直面している問題を把握。解決策を企業に提示する体験を行うことにより、3年次に参加する海外インターンシップの効果を高めます。

- POINT 2** **「国際経営に関する専門知識」**  
海外取引先や進出先の状況に合わせて経営をサポートするための知識を習得。「国際経営論」「グローバルビジネス論」「国際マーケティング」などの科目を通して、専門的な知識を身につけます。
- POINT 4** **「グローバルに活躍するゲストスピーカーによる講義」**  
業務で直面する課題や問題、生々しい体験など実践事例を通して、海外ビジネスの最前線を紹介。ゲストの体験談から自分自身の将来像を描き、どのような知識・能力を身につける必要があるかを考えます。



# 晴れ舞台への夢膨らませた ローズパレードプレミニコンサート

5月26日(火)夕刻、愛知東邦大学S棟2階の体育館。上下黒づくめの粋なスーツに身を包んだ高校吹奏楽部・大学吹奏楽団。ローズパレード協会のマイク・マテセン会長夫妻を迎えてのミニコンサートが始まりました。サプライズに続くサプライズ企画で嬉しい戸惑いの司会は東邦高校の桜井秀樹教頭。身長190cmはあろうという巨漢、眼の覚めるような朱色のブレザーを身にまとったマイク会長夫妻が生徒・学生たちの人垣の花道を通して笑顔で登壇。ミニコンサートは一糸乱れぬ見事なパフォーマンスで、見守った人たちのハートを射止めました。

協会からは予定にはなかったローズフラッグが授与されました。そして生徒・学生たちも、突然、この日のために制作したオリジナル、ローズソングを披露し、来賓の方々を驚かせました。まさに感動のシナジー(相乗)効果でした。カレッジフットボールを盛り上げるアメリカの新年祝賀行事として、2016年元日、カリフォルニア州パサディナ市で開催される「ローズパレード」に、日本、アジア・オセアニアを代表して出場する東邦高校吹奏楽部員、愛知東邦大学吹奏楽団員たち。夢はすでに、晴れ舞台に向かって大きく膨らんでいます。



# 高校の行事

## 1年生が学級合宿で 高校生活の基礎づくり

1年生学年主任 濱砂 孝

1年生の学級合宿が2グループに分かれ、4月22日～23日に岐阜県・恵那峡で、23日～24日に三重県・湯の山でそれぞれ1泊2日の日程で行われました。恵那峡を訪れたのはA～D組とI～L組、湯の山を訪れたのはE～H組とM～O組。いずれも佐々木泰裕校長の講話を通じて東邦高校の歴史や設立の目的などを学ぶとともに、レクリエーションや飯ごう炊さんに取り組みました。今年度は、新たに「企業探求プログラム」の一部が取り入れられ、普通コースと美術科の13クラスでは総合学習のキャリア教育と融合する形で実施されました。クラスの団結、友人、仲間作り、相互理解など高校生活を有意義に過ごせる基礎作りができました。



## 明るく元気に、遠足に行ってきました!!

2年生学年主任 高倉 清文

前日までの雨で、ひょっとしたら行き先変更かという不安を拭い去ってくれる快晴。2年生の遠足の目的は、健脚と新クラスでの友達作り。14クラスが、「リトルワールド」・「八曾」・「八風」・「宇賀溪」の4つのグループに分かれて、一日を楽しみました。



商業科と美術科は、「リトルワールド」で、徒歩で世界を一周したメンバーもいれば、園内バスを利

用して、いの一歩に目的地に到達、買い物と食事を楽しんだメンバーもいました。また多くのメンバーが11月の修学旅行を先取りして、沖縄気分を満喫しました。

道路状況もあり、少し遅れてスケジュールを開始したグループもありました。

普通科の11クラスは、1時間30分ほどの山歩きを楽しみましたが、降り続いて雨のせいで山道がぬかるみ、苦勞をして歩いた場所もありました。その後各班に分かれ持ち寄った食材でバーベキューを楽しみました。どこからも大きな笑い声が途切れることなく、本当に楽しんだ一日となりました。



## 3年生が遠足で「歴史の旅」

3年生学年主任 宮田 久

例年になく雨が多い4月で、関西方面に繰り出す3年生の遠足への影響が心配されましたが、遠足当日の23日は好天に恵まれ、初夏を思わす暑さとなりました。16クラス627人が参加した遠足コースは、各クラスが選んだ「彦根・長浜」、「伊勢神宮」、「嵯峨野・嵐山」、「三十三間堂・清水寺」の4コース。移動のバス内では事前に各クラスの係が準備したレクリエーションを楽しみ、訪れた現地では日本の歴史に触れながらクラスの団結を深める貴重な一日となりました。滋賀県のコースでは、国宝指定の天守を持つ彦根城を全員で見学後、自由散策。歴史好きの生徒が、時間をかけて熱心に城の見学をしていたのが印象的でした。



京都コースの三十三間堂で

## 特色ある教育 名古屋聾学校との交流学習

人間健康コース 総合担当 横井 由弦

6月22日、梅雨の晴れ間に、人間健康コース1年生39人が近隣に所在する名古屋聾学校の生徒と総合的な学習の時間において交流学習を実施しました。交流相手の聾学校の生徒は同じ高校1年生。体育の授業を通じて交流する初めて取り組みとなりました。耳が聞こえない聾学校の生徒と、サッカー・バレーボールの競技を通じて声を出さない意思疎通を図りながらの授業。生徒たちは一様にゼスチャーや喜びをハイタッチ・握手などで表現し交流を深めました。



授業後の生徒の感想からは「声を出せない意思疎通の難しさ」や「スポーツは言葉を越えた交流ができることを知った」といった交流学習を通じて学び得たことの大きさを実感する体験となりました。

## 卒業式 557人旅立ちの春



東邦高等学校の2014(平成26)年度第66回卒業式が2月28日、多くの来賓、父母、在校生、教職員が見守る中、体育館で挙行され、557人に卒業証書が授与されました。長沼均俊校長は卒業生たちに、「導いてくれた

## 卒業記念品はスタッキングテーブル17台

卒業生一同から卒業記念品として、スタッキングテーブル17台が学校へ寄贈されました。

指導者の方々や物心両面で応援してくれた保護者、関係者の方々への感謝の気持ちをいつまでも忘れないでほしい。母校東邦の建学の精神に示されている真に信頼される人になる努力こそ、希望ある未来に続く道であると信じ、これからの人生を突き進んで下さい」とはなむけの言葉を贈りました。

## 人間健康コース1期生迎え入学式



東邦高等学校の2015(平成27)年度入学式が、平和公園の桜が咲き誇る4月6日、体育館で行われました。式典には556人の新入生とともに、多くの来賓や保護者も参列。新年度から就任した佐々木泰裕校長は、新入生の門出を祝うとともに、「志をもって挑戦し、失敗を恐れずチャレンジし続けよう」と熱いエールを送りました。普通科に今年度から新設された人間健康コース入学生代表の松崎圭吾さん(豊橋市立北部中学校出身)が新入生一同を代表して「誓いの言葉」を述べました。



# 大学の行事

## 公務員を目指す「東邦STEP」始動

東邦STEP運営委員会 松井 慶太

2015年度よりスタートした公務員を目指す勉強の部活「東邦STEP」が5月23日より始動しました。記念すべき一期生の受講者に19人(経営学部16人、人間学部3人)が名乗りをあげました。

オープニングガイダンスでは自分の現在地点を確認するため、2時間の模試からスタートしました。「資格の学校TAC」全面協力のもと、行政職や公安職の採用試験合格を目指して4年間活動していきます。

結果が出るまでの4年間は受講生にとって山あり谷ありだと思いますが、これを乗り切ることで自分自身を成長させてほしいと願っています。これからこの19人と共にゴールを目指して頑張っていきます。応援のほど、よろしくお願いします。



模試でスタートした「東邦STEP」(5月23日)

## 教育実習に備えて 模擬授業を実施しました

中高教職課程委員会 照屋 翔大

今年度は16人(経営学部3人、人間学部13人)の学生が教育実習に臨みます。本学では、実習前指導の総まとめとして、「模擬授業」を行っています。中学校や高校の教室を模した講義室や体育館を使用し、同じく教員免許の取得を目指す3年生にも実習校の生徒役として参加してもらいながら、臨場感・緊迫感のある模擬授業になるよう心がけています。当日は、担当教員だけでなく、忙しい時間を縫っていただきながら、多くの先生方に参観・助言をいただき、授業の改善点をよ

り幅広く考える絶好の機会になりました。

模擬授業をしてみると、事前準備の大切さはもちろん、「教える」ということの難しさについて身をもって知ることができます。ぜひこの経験を、本番の教育実習で活かしてほしいと思います。



## 5年目を迎えた 「就業力マイスター奨学生」

学術情報課 茶谷 和彦

愛知東邦大学の「就業力マイスター奨学生」は、学生が、勉学及び課外活動等に積極的に参加して実績を重ねることで、高いレベルの就業力を総合的に身に付けることを奨励し、援助する目的で2011年度よりスタートし、2015年度で5年目を迎えました。

2014年度(奨学金支給は2015年度)の授与者は24人。自らの意思でエントリーした学生は74人でしたが、審査結果により奨学金給付を決める2015年2月の成果発表会に挑戦したのは39人で2013年度に比べて減少しました。2015年度(支給は2016年度)対象者の選考に向けての活動もスタートしています。先輩奨学生に負けないう、自分の力を高めていくことが期待されます。



2月に行われた成果発表会

## 「短期決戦に備えていざ！」 —就職合宿—

就職委員長 深谷 和広

2009年度より全学的な取り組みとして始まった「就職合宿」も今年2月で6回目となりました。

2月5日の経営学部地域ビジネス学科から始まり、最終日24日の人間学部子ども発達学科まで2学部3学科、計200人近い学生が参加をして行われました。グループワーク、模擬面接、先輩の体験談を聞く会など、1泊2日という短期集中型のプログラムは学生にとって貴重な学びの2日間となりました。

2015年度から就職活動スケジュールが3月1日開始となったことで、これまでよりさらに厳しい「短期決戦」となりますが、この機会で得たことを是非とも実践の場で活かし、内定を勝ち取るまで立ち止まらずに頑張ってくださいと思います。



## 2014年度卒業式で235人巣立つ

愛知東邦大学は3月18日、2014(平成26)年度卒業式を行いました。晴れの卒業式を迎えたのは経営学部111人、人間学部124人。学生ホールアリーナ(体育館)での式典で、成田良一学長が、経営学部地域ビジネス学科代表の深谷春菜さん、人間学部人間健康学科代表の堀井美里さん、同子ども発達学科代表の田中翔太さんにそれぞれ卒業証書・学位記を授与。吹奏楽団も人気バンド「DREAMS COME TRUE」(ドリカム)のヒット曲「未来予想図Ⅱ」の演奏で社会に羽ばたく235人を祝福しました。卒業生たちは来賓、保護者、教職員たちの祝福を受けながら思いでの詰まったキャンパスに別れを告げました。



## 卒業記念品

大学の卒業生から母校への卒業記念品として、A棟の掲示板一式が贈られました。

## 新入生372人を迎え入学式を開催

愛知東邦大学の2015年度入学式が4月4日、S棟2階アリーナで行われました。新1年生は経営学部地域ビジネス学科131人、人間学部人間健康学科144人、教育学部子ども発達学科95人の計370人と経営学部3年次に編入学した2人を加えた372人。榊直樹理事長・学長は、「372人の新入生の皆さんを心から歓迎します。92年という学園の歴史を誇りとし、校訓の『真面目』を強く意識して学生生活を送ってください」と式辞。新入生を代表して人間学部の宮里留依さんが「素晴らしい仲間と出会い、自分の財産にしていきたいと思います」と宣誓の言葉を述べました。



# プロ野球での体験を 高校野球指導に生かしたい 教員めざし 25 歳で選んだ 愛知東邦大学入学

人間学部人間健康学科 3年 木下 達生さん  
(東邦高校 OB、元プロ野球選手)

校法人 東邦学園



高校野球指導者になるため教員免許取得をめざす木下さん

木下さんは10年前の2005年、全国高校野球春の選抜大会に東邦高校エースとして甲子園のマウンドに立ちチームをベスト8に導きました。高校生ドラフト3位で日本ハムに入団し、2006年から2010年まで在籍。中日、ヤクルトにも1年ずつ在籍しましたが2012年秋、引退を表明。日ハム時代の2勝2敗がプロ野球での通算成績でした。大学で高校教員の資格を得ることで、高校野球指導者という新たな目標に挑んでいます。(聞き書き=法人広報課・中村康生)

## 初めて見た中日×巨人戦に 熱くなりました

小学3年生の時、父親とナゴヤ球場で見た中日×巨人戦がプロ野球との出会いでした。こんな面白い世界があるのかと熱くなりました。4年生から軟式野球クラブ、中学からは硬式野球クラブに入り、愛知県下から集まった「投手で4番」級のライバルたちと切磋琢磨しました。東邦高校では2年生までが「鬼の阪口」と呼ばれた阪口慶三監督。3年生から今の森田泰弘監督となり、春の選抜大会で甲子園のマウンドに立ちました。2006年に日本ハムに入団しました。厳しいプロの世界ですが、専門分野の指導者のもとで、理にかなった練習が行われていることにもプロであることを実感しました。

## プロの厳しさ教えてくれた 小笠原選手

入団当時の日本ハムではメジャー帰りの新庄剛志選手、森本稀哲(ひちょり)選手らが派手なパフォーマンスでファンを沸かせていました。僕もスポーツ紙に、「ボクシングの亀田興毅に似ているから」とおだてられ、ファイティングポーズの写真を撮られたことがありましたが、ガツンと言ってくれたのが小笠原道大選手でした。「野球は結果を出してなんぼのプロの世界だ。それではピエロではないか」と。新庄さんも森本さんも結果を出しているから球団もそれを認めている。小笠原さんはその辺を僕に分からせようとガツンと言ってくれたわけです。

2年目の2007年の5月19日、対ソフトバンク戦で初完投、初完封で初勝利しました。小笠原さんはこの年に巨人に移り、現在は中日で代打の切り札として活躍されていますが、僕にとっては尊敬する大先輩です。

日本ハムから戦力外通告を受けた時は、調子は上がっていたし、まだまだやれる自信があっただけに無念でした。トライアウトを受け、2010年9月、育成枠で中日に入団。1軍での登板は広島戦での1試合(1回無失点)だけでしたが、2軍では4勝0敗。この年の中日は落合監督最後のシーズンで、リーグ優勝しましたが、戦力外を通告された時はショックでした。ヤ



### 木下 達生(きのした・たつお)さん

名古屋市緑区出身。2006年、東邦高校を卒業。高校生ドラフト指名で入団した日本ハムほか中日、ヤクルトに在籍し2012年にプロ野球界を引退。2013年4月、愛知東邦大学人間学部人間健康学科に入学。2014年からは東邦高校野球部で投手コーチを務めています。



榎学長のニュース解説講座を聴く木下さん  
(2015年4月27日、L棟4階で)

クルトでは全く出番がないまま3度目の戦力外を突きつけられました。

## 人生の岐路で背中を押してくれた 森田監督

人生の岐路に立たされた時はいつも高校時代の師である森田監督に相談を仰いでいました。トライアウトに挑戦した時も背中を押してくれました。引退を決めた後、森田監督はスナックに誘ってくれ、「ご苦労さん。精一杯野球ができたじゃないか」とねぎらってくれました。アメリカでスポーツトレーナーになる計画を立て、準備もかなり進んでいましたが、高校のグラウンド(東郷町)に足を運んでいるうちに、森田監督から、「高校野球の指導者の道もあるのではないか」と言われました。「こういう子たちを教えられたらいいな」と思うようになりました。大学で保健体育の教員免許を取り、先生をしながら高校野球の指導者になろうと決めました。

## 大学生生活を体験してよかった

プロ野球経験者が高校野球を指導するには、教員免許を取ってから2年を経なければなりませんでしたが

2013年から資格回復研修を受けることでの指導が可能になりました。僕もさっそく研修を受け、2年生になった2014年から東邦高校で投手コーチをしています。午後から練習場に出かけられるよう、大学の授業は午前中を中心に時間割を埋めました。おかげで卒業に必要な単位はあと数単位だけです。トレーニング論、コーチング論など、すでに実践してきたことでも理論化することで新たな発見がありました。生徒指導とか心理学などを学ぶのは初めてで、入学して本当によかったと思います。

社会人を体験していますので、一般学生に比べたら政治や社会への関心は高いと思っています。高校時代も含め、メディアからのインタビュー取材も何度も体験してきましたので、人前でしゃべることにもある程度は慣れてしています。4年生との合同ゼミでは、4年生の発表でも、論点が不明確であったりした時は「何を言いたいのか分からない」とはっきり言います。誰かがガツンと言ってやった方がいいだろうと思うからです。4月にL棟で榎直樹学長による「ニュースがよく分かる30分講座」が開かれた時は最前列で受講しました。政治記者だった榎学長によるニュース解説講座など、自分を高められる機会はこれからも大切にしていきたいと思っています。

# クラブ活動 高校

## 男子ソフトテニス部

### 感謝・感動・日々成長

ソフトテニス部顧問 若山 大樹

今年度、皆様の応援をいただき、約31年ぶりにインターハイの出場が決まりました。

昨年度は、あと2セットの所でインターハイの出場を逃しました。その悔しさをバネに生徒たちは、この1年間辛いことや苦しいことに葛藤を抱えながら自分と向き合い頑張ってきました。県総体の2週間前には、香川県にある前年度インターハイ優勝校にお邪魔して、本気でソフトテニスに向き合うチームの雰囲気を感じました。顧問、生徒ともどもインターハイに出るという覚悟がこの時できました。今年度は、私が顧問になって一番弱い代でしたが、そのことを自覚し、キャプテンを中心によく粘ってくれました。



3年生の引退式では、自分のことより口々に周りに対する感謝の言葉が出てきたことは、何よりも顧問として嬉しい気持ちになりました。このような選手に出会いこのチームの監督でいられたことが今年一番の収穫でした。これを機にもう一度チームを見つめなおし応援されるチーム、常に感謝の心をもつことができる選手をより一層育てていきたいと思っています。今後とも東邦高校ソフトテニス部をよろしく願っています。



## 女子バスケットボール部

### 15年ぶりに成し遂げた 愛知県大会出場

女子バスケットボール部顧問 川口 明香

愛知県大会出場。それは、チームがずっと掲げ続けてきた目標でした。



2015年1月。新人戦名北地区予選の初日。私たちは、今までの取り組みや勝ちきれなかった悔しさ、“絶対に勝ち上がる”という強い思いを胸に、力強くコートに立ったことを覚えています。そして、それが15年ぶりの快挙の始まりでした。

新人体育大会では、名北地区予選4位、県大会では知多地区1位の大府に勝ちベスト16という結果を収めました。また、4月の総合体育大会においても名北地区予選3位での県大会出場を果たしました。今後の目標は、県大会ベスト8。多くの支えて下さる方々の思いを胸に、全力プレーを出し続けていきたいと思えます。ご支援ありがとうございました。

## 剣道部

### 「一生感動」の試合、できました

剣道部顧問 松永 早苗

「やっとここまで来た」

インターハイ予選、名東高校を下し県大会出場を決め、続く至学館戦を接戦の末破り決勝に駒を進めた時、選手の1人がつぶやいた言葉です。

振り返れば、長い長い戦いでした。昨年新人戦で名東にまさかの敗退、再起を誓うも主力選手の怪我や病気が連続、先の見えないトンネルの中をさがきながら進んでいる毎日でした。だから、チーム一丸となつての勝利は本当に感動的でした。



3年生一同と

県大会では、苦しみながらも1・2回戦を突破し、久しぶりのベスト8進出を果たしました。最後までひるまず攻めの剣道ができ、剣道部の合い言葉「一生感動」をチームで味わいました。応援していただいた皆さま、ありがとうございました。

## ゴルフ部

### 中部高等学校ゴルフ対抗戦

ゴルフ部顧問 小嶋 大介

本大会は、私の長い念願であったチーム戦の中部大会です。3年生の山田と2年生の熊澤、安倍は少ない部員の中、よくここまで切磋琢磨してくれました。個人戦であれば諦めてしまう所を、「一人の一打はチームの一打」を心掛けることで最後まで集中力を保ちました。予選では最終枠の通過だったのですが、本大会で



新ユニフォームで大会に挑戦!

は更に一つ順位を上げることができ、選手たちは持っている以上の力を思う存分発揮しました。

このような結果が出せたのも、いつも選手を支えて下さる親御様と学園のバックアップあってこそであり、感謝の気持ちでいっぱいです。この経験を

後輩たちに伝えていき、この大会の常連校になれるよう、今後も精進をしていきたいと思っています。

## 硬式野球部

### 鹿児島の招待試合で東邦らしさ発揮

硬式野球部長 小嶋 裕人

東邦高校硬式野球部は鹿児島県高野連に招かれ、5月9、10日の2日間で3試合の招待試合を戦ってきました。全国から1校(東邦)、九州地方から1校(長崎海星)が招待され、鹿児島県の春の県大会上位4校と、甲子園に出場した常連強豪校の2校が加わった6校で戦うという内容です。事前からポスターなどでPRされたこともあり、県民の関心も大いに高まる中で熱戦が繰り広げられました。初日の1試合目はれいめい(春の鹿児島県大会優勝)と戦い8対2で快勝し、2試合目も樟南(春準優勝)を6対1で制しました。2日目は神村学園(選抜出場校)に4対6で敗れ、戦績は2勝1敗でした。投げては藤嶋健人の絶叫投球、打っては溝口慶周のスリーランと東邦らしさを存分に発揮してきました。夏の大会も東邦旋風を巻き起こします。応援よろしくお願いいたします。



硬式野球部の3年生部員

## 空手道部

### 「覚悟」をキーワードに夏の全国大会へ

空手道部顧問 村田 悟

東邦高校空手道部は2014年の東海新人大会の男子団体組手で3位入賞し、3月の第34回全国高等学校空手道選抜大会(東京)への出場切符を得ました。冬季も毎週のように東海三県下に遠征を繰り返し、練習試合を

重ねました。しかし、迎えた大会では、残念ながら、男子団体組手1回戦で、関東地区代表の埼玉栄高校に4対1で敗退しました。

2015年4月の国体予選大会では男女とも優勝し、幸先のよいスタートを切りました。5月の愛知県大会では、女子は団体組手で優勝、個人形でも準優勝でインターハイ出場を決めました。ただ男子は団体、個人ともにどの種目も優勝、準優勝を逸しました。夏の全国高校総体(インターハイ)は和歌山県を中心に近畿2府4県で開催され、空手道は奈良県で開催されます。スポーツどの種目でもある程度同様でしょうが、空手道では、格技ならではの「覚悟」が日常生活から一人ひとりの部員に問われています。

### 軽音楽部

## 第3回定期演奏会を終えて

軽音楽部顧問 水谷 光博

この春、合唱同好会から軽音楽部に昇格ができました。「部活へ昇格しよう」という合言葉でこの4年間活動してきました。「生活に結びついた歌を 社会に明るい歌声を」のスローガンの下、心をこめたあいさつ・掃除をする、真面目に練習する、人を感動させる音楽をつくるが部活の目標です。顧問の高島宏明先生、伊藤英一先生を中心に、部員は1年生33人、2年生16人、3年生18人の合計67人で活動しています。4月定期演奏会、7月愛知サマーセミナー、9月文化祭、12月定期演奏会を軸に活動しています。定期演奏会での演奏は保護者の方々からも好評をもらっています。J-POP、J-ROCKを中心に、バンド演奏が主体ですが、ボーカル、アコースティックギター、カホンなどのアコバンスタイルなどでも演奏しています。今後も部活目標を深めること、音楽を楽しみながら人間的な成長、



よい集団の育成に取り組んでいきたいと思っています。

### 科学研究部

## 「名東の日」で活躍した科学研究部

科学研究部顧問 平川 史子

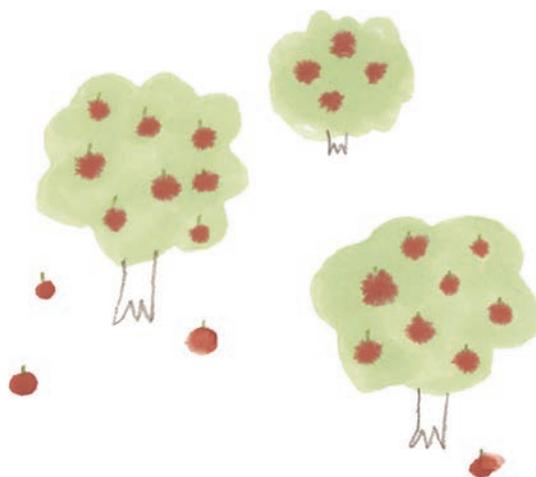
科学研究部は新入部員8人を迎え、新部長の林愛弓(藤森中)のもと活動を始めました。

5月10日の「名東の日」では延べ200人の小学生・幼稚園児とスライム、プラ板、ポップコーン作りを楽しみました。カーネーション図案のプラ板を作って母の日のプレゼントにするお子さんが目立ちました。



名東の日、子どもに大人気

今は7月のサマーセミナーに向けて小中学生向け科学体験授業の準備をしています。夏休みはペルセウス座流星群観測や植物昆虫調査のための合宿を行います。9月の文化祭では約1カ月かけて製作するプラネタリウムの他、大人も子どもも楽しめる科学実験・体験ブースを班ごとに作ります。合宿での成果も文化祭で展示します。ぜひ足を運んでみてください。



# クラブ活動 大学

## Educationサークル

### 教職をめざして

人間学部4年 仲里 紗弥

私たちEducationサークルは、教職に就きたいと強く思っている学生の集まりです。そのため参加者は、



各学年ごとに実施している教員採用対策講座の受講者に限定して、教員採用試験合格のために

積極的に活動しています。主な活動内容は、毎週1回の例会や長期休暇の集中講義、合宿研修などを行っています。また、教員採用試験に限らず、学校インターンシップや地域の学校ボランティアに参加し、教育現場の経験を積んでいます。

さらに、愛知東邦大学卒業生の現職教員との交流を通じて、将来的に「我が愛知東邦大学出身者」から多くの教員を輩出していきたいと願っています。

## Free styleサークル

### FREE STYLEの新たな挑戦

人間学部3年 水野 孝紀

ストリートダンスサークルのFREE STYLEです。主な活動は、大学祭のステージで踊らせていただいたり、春には新入生向けにフラッシュモブをやらせてい



「DANCE MISSILE MAX 2015」に出演したFREE STYLEのメンバーたち

たきました。また、個人的に他大学で練習や学祭に参加したり、他にはダンスイベントに出演し、他大学や社会人ダンサーとの交流も深めています。

5月5日に東海地区の大学生ダンサーが集まり、大学・チームごとにショーケースを見せ合う「DANCE MISSILE MAX 2015」というイベントに出演しました。今回、FREE STYLEがこのような大舞台に大勢で出演するのは初めてだったので、たくさんの苦勞がありました。練習は授業の空き時間に集まれる人だけで行ったり、全員のスケジュールがなかなか合わず、学校に泊まり込み、遅い時間まで練習をしました。出場までに努力した結果、精一杯踊ることができました。

今年は新入生がたくさん入り、さらに盛り上がっているの、今後とも応援よろしくお願ひします。

## 硬式野球部

### リーグ新人戦で初のベスト4

硬式野球部部長 深谷 和広

硬式野球部は6月6日から14日まで、28校が参加して行われた2015年度愛知大学野球新人戦で初のベスト4に食い込む健闘を見せました。新



人戦は1年余の大学野球を経験した2年生と、入学して間もない1年生たちがそれぞれの力をアピールする舞台。トーナメント方式で行われ、愛知大学野球リーグに加盟する全校(1部リーグ6校、2部リーグ12校、3部リーグ10校)の参加となりました。

愛知東邦大学は1回戦で3部リーグの愛知みずほ大学に14-0で圧勝。2回戦では1部リーグの日本福祉大学を6-2、続く3回戦でも1部リーグの中京大学を4-0で下す連続金星で準決勝に躍り出ました。14日名城大学日進グラウンドで行われた準決勝では1部リーグの名城大学に2-0で惜しくも破れましたが、新人戦初のベスト4に輝きました。

これから暑い夏に入り、夏季休暇中も9月に開催される秋の公式戦に備えて厳しい練習が続きます。今後とも硬式野球部への温かいご支援、ご声援のほどよろしくお願ひします。

男子サッカー部

東海1部昇格を目指す  
男子サッカー部

人間学部人間健康学科2年 馬塚 貴之



1部昇格に燃える男子サッカー部

男子サッカー部は藤川久孝監督の熱い指導のもと、日々トレーニングに励んでいます。私たちは東海学生サッカー連盟に所属しています。目標は東海学生サッ

カー連盟1部に昇格することです。2部に上がって5年目で、前期は自分たちが思うような結果が出ていません。しかしこの中断期間しっかりと修正し、後期に結果を出せば十分昇格することが可能です。去年1部に上がれなかった先輩たちの悔しさを忘れることなく、監督やスタッフ、選手がチーム一丸となり、目標を成し遂げられるよう努力し続けます。

また、サッカーだけでなく学校生活でも模範になるよう心掛けています。そしてサポートして下さる全ての人たちに感謝することを忘れず学生生活を送っていきたいと思います。いと思います。皆様応援よろしくお願ひいたします！

女子サッカー部

創部9年目、新たな高みめざす

人間学部人間健康学科4年 後藤 悠里

女子サッカー部は今年で創部9年目を迎えます。



メンバー全員でのゴールデンウィーク遠征

昨年は目標であった東海リーグ1部昇格、愛知県女子サッカー選手権大会優勝、インカレ出場の全てを達成しました。今年

は、東海リーグ1部残留、愛知県女子サッカー選手権大会2連覇、インカレ出場を目標に日々部員全員で頑張っています。

7月15日以降の女子サッカー部のスケジュール

リーグ	日時	Kick off	場所
東海リーグ	7/19(日)	12:30～	エコパ人工芝
県リーグ	7/25(土)	13:30～	日進グラウンド
東海リーグ	7/26(日)	13:00～	日進グラウンド
東海リーグ	12/13(日)	11:00～	草薙球技場
東海リーグ	12/20(日)	13:00～	磐田東グラウンド

愛知県女子サッカー選手権大会は9月6日(日)。ベスト8から参戦します。

吹奏楽団

超多忙です…

吹奏楽団監督 白谷 峰人

2015年度は6人の新入団員を迎え、14人での活動も3カ月が過ぎました。4月からの吹奏楽団は多忙を極めています。藤が丘へ演奏に、浜松へ演奏に、有松へ演奏に——。学内での演奏、高校吹奏楽部とのコラボ。そしてコンテスト出場。座奏スタイル、マーチングス



有松旧街道パレード

スタイル、アンサンブルスタイル、立奏パフォーマンススタイルなどなど。短時間の練習でも集中して様々な活動にまい進しています。まだまだそんな多忙な日々が続きます。夏のスケジュールを皆様にお知らせしておきます。

皆様の応援あつての吹奏楽団です。少人数ではありますが、どんなことでも心をこめて全力で取り組んでいきます。これからも応援よろしくお願ひいたします。

7/19(日)	平和が丘夏祭り	平和が丘小学校
7/25(土)	うるぎ星の森音楽祭	うるぎ星の森オートキャンプ場
7/26(日)	星が丘テラスコンサート(仮)	星ヶ丘テラスイベント広場
8/22(土)	売木村ミニコンサート	売木村文化交流センター ぶなの木
8/25(火)	全早慶戦 慶応義塾応援(高校吹奏楽部と)	ナゴヤドーム
8/29(土)	納涼音楽祭	東邦高校 交流の広場

## 1. 事業概要

2014年度は大学・高校ともに、次代を見据えた人材育成に向けて改革を推進した。

大学は、この地域の産業が海外展開もできるために必要とする「コア人材」の育成に応えるべく、経営学部「国際ビジネス学科」を設置することとした。収容定員を適正化するよう各学部の定員の変更を申請した。

高校は、大学との連携を視野に、全国に誇るスポーツの伝統を生かした普通科「人間健康コース」の開設を準備し、ユニエスコスクール加盟と共に、グローバル教育の推進に向けて取り組んだ。

校舎の耐震化とリノベーションを目的にした3年越しの大学キャンパスの整備工事は、完了した。情報と図書、学習支援の機能を融合した「ラーニング・コモンズ棟」を新築するなど、居心地の良い開かれた大学・高校を目指し、学園の一体感を醸成する新たな教育環境として整備した。

地域や行政との連携では、防災や体育・文化活動など幅広い分野において地域社会の発展に一層貢献できるよう名古屋市名東区と連携協定を締結し、協力関係を明確にした。また、社会のニーズを取り入れて新たな事業を創出すること目的に、愛知中小企業家同友会や愛知信用金庫と産学連携協定を結んだ。外部組織との連携は、多様な実践交流の場をつくることになり、これらを活かした取り組みを通じて教育の質的な転換を図り、教職員の力量を高める効果を期待している。

### 【法人】

2012年に策定した中期事業計画(戦略マップ)については、社会環境の変化や追加した取組みとの整合を図るために、中間的な総括とともに基本計画全体を見直した。財政計画と連動して教職員の取り組むべき具体的な行動計画も整理した。

また、高大連携事業の充実や地域貢献、キャンパス構想の促進を主な事業として展開した。さらに(株)名古屋グランプラスとの教育提携や名東区との連携協定締結など、教育基盤充実に努めた。

### 【愛知東邦大学】

本学は社会からより評価される大学となり得るか否か。2014年度から5年間の取り組みが、その死命を分けると認識

し、初年度をスタートさせた。

教育学部(子ども発達学科)は第一期生を迎え入れ、2001年度に1学部1学科(経営学部地域ビジネス学科)で発足した本学は、創設14年目にして3学部3学科の体制を整えた。さらに新たな教育は切れ目なく展開する必要があると判断、経営学部国際ビジネス学科を新設する準備も始めた。

教育内容の充実・発展を図るには、学長のリーダーシップのもと、全学がその力を結集することが不可欠と判断し、大学を戦略的かつ迅速に運営するためのガバナンス体制を構築した。折から、学長の権限強化と教授会の役割を限定化する学校教育法が改正され、2015年4月から施行の運びとなった。次期学長(理事長が兼務)主導で、意思形成に関しては熟議を重ねつつも、最終決定は学長の下で行う仕組みを整えた。また、本学が取り組むべき使命を明確化する組織の改編——教育力向上委員会と、連動する担当課の設置など——を行った。

大規模災害に備え2011年度から計画したキャンパス整備工事は2014年度末に完了した。図書館と学術情報の役割を融合した新棟「ラーニング・コモンズ」を建設。教育づくりや学内ワークスタディなどに取り組んで、学生の満足度を高めた。

### 【東邦高等学校】

本校は、数年来取り組んできた諸改革の成果が徐々に見え始め、生徒募集も2007年度の大きな落ち込みから推薦志願者を回復させた。一方、国の教育動向は戦後最も大きな変革を迎えると言われており、その対応への準備が重要な課題になってきた。今後、誇りを持って100周年を迎えるためには、建学の精神を見失うことなく時代が求める教育実践を着実に重ねていくことが何よりも肝心である。

#### 財務情報の開示

学校法人東邦学園の財務に関する下記の情報をご請求に応じて開示します。開示の対象者は学園の教職員、在学生又はその保護者・保証人、卒業生、債権者、入学希望者又はその保護者(保証人)です。

- ・計算書類(資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表)
- ・予算書(資金収支予算書、消費収支予算書)
- ・事業計画書および事業報告書
- ・財産目録
- ・監査報告書

## 2. 財務の概要

2014年度財政で例年と異なる動きとしては、大学の耐震補強改修やラーニング・コモンズ棟の建築、学生寮の取得、高校ではICT設備の整備がある。

教育・研究環境の整備で多額の支出が生じたものの、収入も事業関連の補助金を受け、通常年度より2億円を越す増加となった。納付金収入に直結する入学者では、大学において経営学部が133人(入学定員200人)に留まり大きく下回ったが、人間学部と教育学部は歩留まりがよく、定員の1.3倍を越す数となった。大学全体として入学者は定員を確保できなかったものの、在学者は2013年度より増加し、最も大きな収入源である納付金の改善につながった。

二次補正予算と決算で収支の差異が大きかった項目をみると、収入では納付金や手数料、寄付金、補助金などが増えた。支出では非常勤講師数を見直し、人件費や執行段階での経費抑制に努めて教育研究経費が減ったこと、学生寮の修繕工事の次年度先送り、管理経費や備品購入の取り止めによる設備関係支出の減少などが挙げられる。

単年度収支のバランスとして、当初の予算編成方針では、重要な評価基準である帰属収支差額比率(帰属収支差額比率=帰属収入-消費支出÷帰属収入)を5%に設定した。決算では黒字を維持したものの2.6%に留まり、目標を達成でき

なかった。

## 1. 学園の財政状況

### (1) 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該年度の教育研究活動に対するすべての資金の収入・支出の内容を明らかにし、かつ、支払資金の収入・支出の顛末を明らかにしたものである。

#### 【収入の部】

学園の主な収入である授業料や入学金などの学生生徒納付金収入が、前年度を6,196万円上回った。学生生徒数(2014年5月1日)は2,991人。前年度比で高校が15人減少した一方、大学が62人増え、全体で47人増加した。

後援会や企業などからの一般寄付金とともに高校硬式野球部甲子園出場などの特別寄付もあり、寄付目標額の2,800万円を超えた。

補助金収入は、経常費補助金以外に大学耐震改修工事に対する私立学校施設整備費補助金2億285万円が特別補助収入として増額となった。また、私立大学等教育研究活性化設備整備事業1,178万円、高校の私立高等学校等IT教育設備整備推進事業1,542万円が採択された。

2014(平成26)年度 東邦学園 事業報告

2014年度 資金収支計算書

(単位：千円)

収 入			支 出		
科 目	金 額	構成比率	科 目	金 額	構成比率
①学生生徒等納付金収入	2,117,353	37.8%	①人件費支出	1,969,753	42.7%
②手数料収入	45,682	0.8%	②教育研究経費支出	599,568	13.0%
③寄付金収入	28,075	0.5%	③管理経費支出	219,147	4.7%
④補助金収入	1,065,565	19.0%	④借入金等利息支出	17,899	0.4%
⑤資産運用収入	22,575	0.4%	⑤借入金等返済支出	260,904	5.7%
⑥事業収入	2,580	0.0%	⑥施設関係支出	1,198,063	25.9%
⑦雑収入	90,391	1.6%	⑦設備関係支出	95,792	2.1%
⑧借入金等収入	666,000	11.9%	⑧資産運用支出	216,351	4.7%
⑨前受金収入	400,179	7.2%	⑨その他の支出	39,365	0.9%
⑩その他の収入	1,156,977	20.7%			
⑪資金収入調整勘定	△ 697,624	—	⑩資金支出調整勘定	△ 33,406	—
⑫前年度繰越支払資金	1,082,478	—	⑪次年度繰越支払資金	1,396,793	—
⑬収入の部合計	5,980,234	100.0%	⑫支出の部合計	5,980,234	100.0%

【支出の部】

大学は教育学部設置に伴い本務教員人件費が増加となった。総人件費抑制のため職員人件費を削減したが、大学・高校の人件費は2,164万円(退職金を除く)の増加となった。

大学の棟建築や耐震改修工事、学生寮の取得や、高校の情報機器など教育環境整備を行った。

(2)消費収支計算書

消費収支計算書は、当該年度の消費収入と消費支出の内容および収支の均衡を明らかにし、当年度の経営状況を表す。学校法人の経営状況が健全であるかどうかを示す。

収入・支出の勘定科目では、資金収支計算書とほぼ同様の金額になるが、借入金など負債を伴う収入や施設・設備などの資産の取得に関する支出は計上されず、永続的に保持すべき資産の増加額を基本金組入額として収入から控除した額が教育・研究の諸活動に必要な資金に充当することができる金額となる。消費収支では、2014年度の帰属収支差額は8,802万円の収入超過。基本金組入後の消費収支差額では、3億8,567万円の支出超過となった。

帰属収入は、前年度を2億3,209万円上回る33億7,714万円となった。第1号基本金組入額は、大学のキャンパス第2期耐震改修工事の完了に伴い建設仮勘定を振り替えたことや、学生寮の取得や高校・大学の共有サーバーなどの購入による組入れ7億7,224万円および借入金等

返済による組入れ2,505万円を合わせて7億9,730万円となったが、除却分の3億2,359万円を取り崩したことにより4億7,370万円となった。

消費支出は2013年度より2億9,405万円増の32億8,912万円となった。退職給与引当金繰入額等による人件費増、教育研究経費および管理経費がキャンパス第2期工事等の施設設備による減価償却額の増加が主な要因である。

収入および支出の大口目の割合について、収入では学生生徒納付金収入が62.7%、補助金収入31.6%と収入全体の94.3%を占めている。また、支出では人件費が全体の60.0%を占めているが、教育経費が31.2%であり、帰属収入総額に対して30.4%と目標どおり教育研究活動に必要な経費支出を行っている。管理経費は6.8%、帰属収入総額に対しては6.7%と予算方針で示した6%を若干上回る結果となった。

(3)貸借対照表

貸借対照表によると、2014年度末現在の資産総額は110億1,473万円。内訳は、土地・建物取得等の有形固定資産が83億7,175万円、その他の固定資産が大学・高校の減価償却引当特定預金の取り崩し等により7億9,507万円、施設設備関連補助金の未収および現預金(次年度繰越支払資金)の流動資産18億4,791万円となり、5億1,748万円増加した。他方、負債も4億2,945万円増加した。長期借入金が大学キャンパスの改修に係る分などで3億2,218万円増加、国の補助金が実際に交付されるまでのつなぎ融資1億円を含み短期借入金も8,290万円増加し

2014年度 消費収支計算書

(単位：千円)

収 入			支 出		
科 目	金 額	構成比率	科 目	金 額	構成比率
①学生生徒等納付金	2,117,353	62.7%	①人件費	1,973,038	60.0%
②手数料	45,682	1.4%	②教育研究経費	1,027,247	31.2%
③寄付金	32,999	1.0%	③管理経費	224,614	6.8%
④補助金	1,065,565	31.6%	④借入金等利息	17,899	0.5%
⑤資産運用収入	22,575	0.7%	⑤資産処分差額	40,771	1.2%
⑥事業収入	2,580	0.1%	⑥徴収不能額	3,409	0.1%
⑦雑収入	90,391	2.7%	⑦徴収不能引当金繰入額	2,140	0.1%
⑧帰属収入の部合計	3,377,147	100.0%			
⑨基本金組入額合計	△ 473,704	—			
⑩消費収入の部合計	2,903,443	—	⑧消費支出の部合計	3,289,120	100.0%

た。

基本金は114億8,921万円で、そのうち校地・校舎・機器備品・図書など教育・研究に必要な資産の自己資金調達額を示す第1号基本金は4億7,370万円増加して、110

億8,431万円となった。

繰越消費支出超過額は、本決算での3億8,567万円の消費支出超過により2014年度末では36億6,995万円に増加した。

2014年度 貸借対照表		(単位：千円)		
科目	2013年度決算	2014年度決算	差異	差異の要因
資産総額	10,497,253	11,014,737	517,484	
(有形固定資産)	7,544,565	8,371,750	827,185	土地・建物取得
(その他固定資産)	1,614,844	795,072	△ 819,772	減価償却引当特定預金の取崩し
(流動資産)	1,337,843	1,847,915	510,072	補助金の未収分と次年度繰越資金
負債総額※	2,766,025	3,195,483	429,458	
基本金	11,015,508	11,489,213	473,705	
翌年度繰越消費収支超過額	△ 3,284,281	△ 3,669,959	△ 385,677	

※負債額には、愛知県授業料軽減補助金2億9,421万円含む

## 2015(平成27)年度 東邦学園 事業計画

### 誇りを抱ける学園へ——事業計画の策定に当たり

理事長 榊 直樹

#### 〈時代認識と教育の使命〉

終戦から満70年を迎えた。廃墟から立ち上がった日本は、世界有数の経済大国にまで発展した。先人の直向きな努力と、他を思い遣れる精神性の高さがあった。人づくりこそ社会の基盤という共通意識のもと、教育がしっかりと支えてきた側面も大きい。

それが今、衰退の道を辿りつつある。著しい少子化による人口減少と超高齢者の増大がある。東京への過度の一極集中も拍車をかけている。強いものがより強くなれる市場の仕組みによって、富裕層が富裕を積み重ねる一方、子どもの6人に1人は食事さえ満足に摂れない。進学をあきらめ、健康も自尊心も損ねて、貧困のスパイラルから抜け出せずにいる。繁栄が広く行き渡った社会は、格差が拡大し連鎖する構造に劣化しつつある。

しかし、教育には時代を平和に築く責務がある。貧困からの脱出、様々な格差を正すことにも、大きな力を発揮し得る。社会を明るくけん引する力も、人づくりにかかる。教職員は、学園が学生・生徒の将来を大きく左右する場であることを深く自覚し、役割を果たす任務がある。

#### 〈課題と取り組み方〉

それには、学生・生徒が様々な場面において、自らに誇りを抱けることである。学生・生徒と教職員が、外からも敬意を示される存在でなければならない。

一つは地域で頼もしい支え手を育てることである。この地域で生き生きと暮らしを持続できるよう、人々との絆を大切にしながら、リベラルな意識で自ら判断し、困難に突き当たってもたくましく生き抜ける人材を育てたい。さらに世界の成長を取り込み、或いは国際社会の平和の貢献役として、人種や民族、宗教などの違いによる多様な価値を受容出来る、視野広い担い手も新たに送り出したい。

社会が求める「質の保証」にどう応えるか——。

募集時から本学への志願意欲をかき立て、学力を高めた。さらにコミュニケーション、プレゼンテーション能力を養い、社会性を持って自ら判断できる人材に育てることである。国が2019年度から始める高大接続改革は、新たな大学入試に止まらず、高校教育の在り方に一大変革を迫ると共に、

大学にも緩みがちな入試から卒業・就職に至るまでの教育を根本から改めるよう求めている。高校、大学共に教職員一人ひとりが自ら変わり、新たに取り組まなければ、取り返しの付かない烙印とランキングを押されかねない。

「質の保証」は、学力面だけに限られるものではない。礼節を常に心得ながら、他者への「思い遣りと尊敬」「利他の姿勢」を身に付けることである。学生・生徒に求める生き方としての校訓「真面目」、建学の精神「真に信頼して事を任せよう人格の育成」を実あらしめるものと考えて。まず教職員が品位を率先して示し、学生・生徒に浸透させたい。

本年度は高等学校で普通科に新設した人間健康コースがスタートする。大学では2016年度開設を予定している経営学部国際ビジネス学科を本申請し、機関別認証評価を受審する準備の年度となる。法人部門は、各設置校事業計画の進捗状況を的確に把握し、経営目標を達成する。そして、学園全体として厳しい少子化時代でも安定した学園経営を確立する。

また、大学人間学部子ども発達学科および高校商業科の廃止年度を見据えて、留年生を出すことなく学年進行するよう教育ならびに経営支援を行なう。

#### 【重点目標】

##### 1. 強い訴求力を備えた「東邦」のブランド戦略

学園広報を抜本的に見直し、核となる「強み、良き」と共に「在りたい姿」をイメージとして確立する。ブランド戦略を通じて、学園の目指すべき姿を問い直し、生徒・学生、保護者から選ばれる、憧れの高校・大学像を打ち立てる。在学生と教職員にとっては自ら一層誇れる学園への満足度向上を意識する。

##### 2. 帰属収支差額比率の向上

経営戦略に役立つ会計情報を提供するため管理会計システムを構築し、コスト管理を徹底する。少子化への坂を急速に下る前に、整えるべき事項へ集中的に投下する。経費削減を徹底し、具体的な目標として帰属収支差額比率5%以上を実現する。

##### 3. 外部資金の獲得

特色ある教育研究事業を積極的に推し進めるため、必要な資金を確保する寄付事業に取り組み、年間2,000万円以上の寄付金を集める。また、比重が高まる採択制補助金は国や文

## 2015(平成27)年度 東邦学園 事業計画

部科学省が推奨・奨励する地域の創生、新たな大学像と連動しており、その政策動向を注意深く読み取りつつ、獲得できるような学内の体制や諸条件を整備する。

### 1. 予算の要旨

#### (1) 事業活動収支

「2015年度事業活動収支予算書」における収支状況について、2014年度に比べて予算上主に変動する項目では、教育活動収支において収入の部で大学の学生増による学生納付金と寄付金、経常費等補助金が増加する一方、高校の生徒減とそれに伴う補助金、大学での工事に対する補助金が減額する。支出の部では、人件費で賞与を中期財政計画に基づいて積算したことや大学の耐震工事が2014年度に終了したことで経費が削減されている。また、特別収支において、収入の部で大学の耐震工事や高校のITに係る整備事業が2014年度で終了したことに伴い、2014年度と比較して1億8,397万円減額となっている。

この結果、基本金組入前当年度収支差額で、4,454万円となり2014年度よりも7,371万円増加する。基本金組入後の当年度収支差額では、5,140万円が支出超過となるが、前年度と比較すると2億1,434万円の増加となる。事業活動収支予算の見込みは、教育活動を示す収支差額は学園全体7,849万円プラス、教育活動外の財務活動による収支差額は1,489万円のマイナス。よって、経常的な収支は6,360万円のプラスの見込みであり、均衡は保っている。

臨時的な特別収支は1,094万円のプラス、2015年度の収支バランス(帰属収支差額)は4,454万円プラスの見込みであり、収支のバランスの均衡は保てる。

一方、部門別では、法人は教育活動がなく経常収支はマイナス、大学はプラスとなるものの、高校では教育活動収入の73.8%が人件費支出となり、経常収支がマイナスで均衡が保てない見込みとなる。

事業活動収支		(単位：千円)
勘定科目	2015当初予算	視点
教育活動収支①	78,497	教育活動の収支状況を見る
教育活動外収支②	△ 14,894	財務活動による収支状況を見る
経常収支差額 (① + ②)	63,603	経常的な収支のバランスを見る
特別収支	10,943	資産売却や処分等の臨時的な収支をみる
予備費	30,000	
基本金組入前当年度収支差額	44,546	毎年度の収支バランスを見る(帰属収支差額比率)
基本金組入額合計	△ 95,950	
当年度収支差額(消費収支差額)	△ 51,404	長期の収支バランスを見ることが出来る
前年度繰越収支差額	△ 3,550,032	

#### (2) 資金収支

資金収支による収入は、前年度比13億1,376万円減の35億5,411万円となる見込み。この要因は2014年度が特殊事情により収入が増加していたため2015年度は減額となる。具体的には、2014年度は減価償却特定預金を一般資金に繰入(9億848万円)したこと、また新たな借入金(6億6,600万円)を行なったことで収入が増加した。

支出では、14億3,681万円減の33億2,007万円となる。この要因は、大学のキャンパス工事に伴う事業の完了により支出が大幅に減額になったことによる。なお2015年度の教育研究経費と管理経費は、それぞれの学校にて立案している事業計画の実施に伴う経費の計上によるものである。

学園全体の翌年度繰越支払資金は、2014年度の11億9,346万円から2億3,403万円増加し、14億2,750万円となる見込みである。

## 学園の人事構成

【2015年7月1日現在】

本年度の学園の人事構成は下記の通りです。

#### ◆理事・監事・評議員

理事 長：榊 直樹  
 常務理事：長沼 均俊  
 理事：佐々木泰裕、増田 貴治  
           古市 久子、村田 悟  
           塩澤 敏明、加藤 明彦  
           木岡 一明  
 監事：川竹 敬三、鈴木 基仁  
 評議員：中山 孝男、古市 久子  
           澤田 節子、堀田 時弘  
           村田 悟、藤本 紀子  
           水谷 光博、蔡 賢治  
           戸谷 正行、森川 早苗  
           塩澤 敏明、高山 仁惣  
           中島 麗子、佐々木積善  
           大矢 正成、大矢 郁夫  
           岩田 雅明、柴田長兵衛  
           遠山 真人、下出 啓介  
           嶺木 昌行

#### ◆法人事務局

法人事務局 長：増田 貴治  
 特任(財務)事務局次長：堀田 時弘  
 法人事務局課長補佐：池田 暁生  
 広報課 長：二宮加代子  
 広報課 長補佐：奥田 緑  
 以下大学同役職兼ねる

総務課 長：西 弘美  
 経理課 長：柴田千登勢  
 総務課 長補佐：藤川 久孝  
 総務課 長補佐：三輪 哲也

#### ◆大学

学 長：榊 直樹  
 学 長 補 佐：増田 孝  
 学 長 補 佐：古市 久子  
 学 長 補 佐：増田 貴治  
 経営学部長：中山 孝男  
 経営学部長補佐：高木 靖彦  
 人間学部長：澤田 節子

人間学部長補佐：葛原 憲治  
 教育学部長：今津孝次郎  
 教育学部長補佐：後藤 永子  
 学術情報センター長：高木 靖彦  
 地域連携センター長：増田 孝  
 地域創造研究所長：山極 完治  
 地域創造研究副所長：手嶋 慎介  
 教務委員長：田村 豊  
 就職委員長：深谷 和広  
 学生委員長：矢内 淑子  
 教育力向上委員長：葛原 憲治  
 地域連携委員長：増田 孝  
 学術情報委員長：高木 靖彦  
 研究活動委員長：山極 完治

#### ◆大学事務局

事務 長：増田 貴治  
 事務次長：齋藤 周一  
 特任(経理)事務次長：堀田 時弘  
 教務課 長：齋藤 周一  
 学生課 長：二宮加代子  
 学術情報課 長：藤井 玲子  
 教育企画課 長： 〃

2015年度 資金収支予算書		(単位：千円)
科 目	金 額	
収入の部	学生生徒等納付金収入	2,156,341
	手数料収入	44,578
	寄付金収入	34,300
	補助金収入	857,747
	国庫補助金収入	158,829
	地方公共団体補助金収入	698,918
	付随事業・収益事業収入	2,912
	受取利息・配当金収入	3,210
	雑収入	78,759
	借入金等収入	0
	前受金収入	369,149
	その他の収入	446,190
	資金収入調整勘定	△ 439,070
	前年度繰越支払資金	1,193,465
	収入の部合計	4,747,581
支出の部	人件費支出	1,925,843
	教育研究経費支出	510,531
	管理経費支出	188,423
	借入金等利息支出	18,104
	借入金等返済支出	352,155
	施設関係支出	40,000
	設備関係支出	27,298
	資産運用支出	224,723
	その他の支出	24,811
	[予備費]	30,000
	資金支出調整勘定	△ 21,811
	翌年度繰越支払資金	1,427,504
	支出の部合計	4,747,581

2015年度 事業活動収支予算書		(単位：千円)	
科 目	本年度予算額		
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	2,156,341	
	手数料	44,578	
	寄付金	34,300	
	経常費等補助金	843,915	
	国庫補助金	144,997	
	地方公共団体補助金	698,918	
	付随事業収入	2,912	
	雑収入	78,759	
	教育活動収入計	3,160,805	
	事業活動支出の部	人件費	1,938,387
		教育研究経費	947,626
		減価償却額	437,095
		管理経費	196,295
		減価償却額	7,872
		教育活動支出計	3,082,308
教育活動収支差額		78,497	
教育活動外収入の部	受取利息・配当金	3,210	
	その他の教育活動外収入	0	
	教育活動外収入計	3,210	
	教育活動外支出の部	借入金等利息	18,104
		その他の教育活動外支出	0
教育活動外支出計	18,104		
教育活動外収支差額	△ 14,894		
経常収支差額		63,603	
特別収入の部	資産売却差額	0	
	その他の特別収入	14,948	
	特別収入計	14,948	
	特別支出の部	資産処分差額	4,005
		その他の特別支出	0
特別支出計	4,005		
特別収支差額	10,943		
[予備費]		30,000	
基本金組入前当年度収支差額		44,546	
基本金組入額合計		△ 95,950	
当年度収支差額		△ 51,404	
前年度繰越収支差額		△ 3,550,031	
翌年度繰越収支差額		△ 3,601,435	
(参 考)			
事業活動収入計	3,178,963		
事業活動支出計	3,134,417		

入試広報課長：長沼 英樹  
 就職課長：  
 教務課長補佐：新村 健  
 教務課長補佐：貫名 正樹  
 学生課長補佐：山際 史子  
 就職課長補佐：阪口 将史  
 学術情報課長補佐：黒柳 好子  
 学術情報課長補佐：富田 敦史  
 入試広報課長補佐：太田 勉  
 入試広報課長補佐：奥田 緑

◆高等学校

校 長：佐々木泰裕  
 学 内 理 事：村田 悟  
 教 頭：桜井 秀樹  
 〃：藤本 紀子  
 特 任 教 頭：渡邊 素幸  
 校 務 部 長：水谷 光博  
 教 務 部 長：岡本 洋美  
 生 活 指 導 部 長：山田 博子  
 広 報 企 画 室 長：平上 純一  
 進 路 指 導 主 事：森田 美樹  
 国 際 交 流 室 長：伊藤 保憲

メディアセンター長：川邊 雅志  
 保 健 指 導 主 事：船水 昭宏  
 生 徒 会 正 顧 問：古田 知子  
 学 年 主 任 第 1 学 年：濱砂 孝  
 学 年 主 任 第 2 学 年：高倉 清文  
 学 年 主 任 第 3 学 年：宮田 久  
 学 科 主 任 商 業 科：木庭 信耶  
 学 科 主 任 美 術 科：杉浦見奈子  
 コース責任者文理特進：稲葉 益夫  
 コース責任者人間健康：横井 由弦  
 教 科 主 任 国 語 科：青山 大輔  
 〃 社 会 科：志水 和史

教 科 主 任 数 学 科：蔡 賢治  
 〃 理 科：保坂 秀和  
 〃 保 健 体 育 科：伊藤 恵子  
 〃 芸 術 科：小塚 康成  
 〃 英 語 科：平岡 広子  
 〃 家 庭 科：田中 瑞穂  
 〃 商 業 科：大橋 由紀

◆高校事務部

事 務 部 長：袴田 克彦  
 総 務 課 長 補 佐：山田 智代  
 情 報 シ ス テ ム 課 長 補 佐：池田 暁生

# キャンパス短信

法人

## 「21TOHO教育充実事業募金」 ～ご協力に深謝～

21TOHO教育充実事業募金事務局

学園では教育環境整備、施設設備の充実、教育研究活動の奨励に取り組むため、21TOHO教育充実募金活動を展開しております。これまでも多くの方々から多額の募金を頂戴し、高校新校舎の建築や大学新学部の増設およびグラウンド新設のための資金として運用させていただきました。昨年はさらに充実したキャンパス空間を具現化すべく、最新の設備を整えた大学新棟(L棟)も完成させることができました。皆様方からのご支援に対しては、「人格教育」を重視する建学の精神に立った21世紀に有意な人材を育て、卒業生が実業界をはじめ各界で活躍することで恩返しさせていただきたいと考えております。

なお、募金についての要項ならびに寄付金の免税措置につきましては、大学・高校の各ホームページにも掲載しております。今後ともご理解を賜り、ご賛同をいただけますよう衷心よりお願い申し上げます。

歴史、先生方や職員の皆さんの取り組みを紹介していきます。インタビュー取材は法人広報課の中村康生が担当しています。パソコンやスマホでは「TOHOインタビュー」で検索できます。7月1日現在で6人へのインタビュー記事が紹介されています。

- 第1回 今津孝次郎・教育学部教授(教師・保育士への道は「サービス・ラーニング」から 名東区の小学校運動会などで1年生が現場体験)
- 第2回 高木靖彦・経営学部教授(南信州での少年時代に膨らんだ宇宙への夢 「はやぶさ」の縁で小惑星「Takagi」も誕生)
- 第3回 増田孝・人間学部教授(書跡の鑑定から浮かび上がる歴史ドラマ 学生時代に身につけた日本の伝統文化)
- 第4回 長沼均俊・学校法人東邦学園常務理事(入学式で伝えたかった「海を見る自由」果敢に挑戦してほしい学生時代)
- 第5回 横道政男・硬式野球部監督(部員たちと会話することが監督の仕事 学生たちを引き連れて必ず神宮球場に)
- 第6回 古市久子・教育学部教授(日本初「幼稚園保姆」との出会いと再会 絵手紙で自分を励まし続けた苦境の日々)

大学

## 学生20人が藤が丘駅周辺で クリーンキャンペーン

名古屋市の全市一斉クリーンキャンペーン「環境デー名古屋2015～つながる人の輪 つながる取り組み～」が6月6日に行われ、名東区でも地下鉄藤が丘駅周辺を中心に18学区で様々な取り組みが繰り広げられました。

学校法人東邦学園は2015年2月に名東区と連携協力協定を締結しており、名東区まちづくり推進室からの呼びかけに応え、愛知東邦大学学生会の学生約20人が、藤が丘駅前での総勢約150人によるキャンペーン活動に参加。学生たちは午前10時から約1時間、同じグループとなった市民団体、事業所グループたちとともに、駅周辺でのごみ拾いにさわやかな汗を流しました。

大学

## 連載企画「TOHOインタビュー」 がスタート

愛知東邦大学ホームページでの連載企画「TOHOインタビュー」が5月からスタートしました。教員や職員、卒業生も含めた東邦学園に関わる皆さんへのインタビューを通して、意外と知られていなかった学園の

高校

## クエストカップ2015

進路指導室 池田 暁生

2015年2月21日(土)。今年も法政大学を会場に、クエストカップ全国大会が開催されました。2012年に導入以来、3年連続3回目の出場を果たしました。「クエストエデュケーションプログラム 企業探究コース」は実在する企業からミッションを受け、教室にいながらにしてインターンシップ体験ができる教育プログラムです。本プログラムは、本校のキャリア教育の一つの取り組みとなっています。今年は、美術科が3年目にして初の全国大会出場を果たし大きな期待と応援が寄せられました。

大会当日、本校生徒の発表直前、会場付近一帯に地区停電が発生するアクシデントが発生しました。生徒たちにも動揺が走りましたが、停電復旧後には冷静さを取り戻しチーム一丸となってこれまでの探究的な学びの成果を発表してくれました。

探究的な学びを通じて、生徒たちが自ら考え行動できる育成の一助となるよう引き続き教育活動に取り組んでいきます。





# 愛知東邦大学

経営学部 地域ビジネス学科  
 国際ビジネス学科 (2016年4月開設)  
 人間学部 人間健康学科  
 教育学部 子ども発達学科



## 2015 オープンキャンパス

7/25(土)・7/26(日)  
 8/7(金)・8/23(日)  
 9/13(日)・10/17(土)

- 9:00/受付開始 10:00/オープニング開始
- 開催場所/愛知東邦大学キャンパス内
- 対象/高校生・保護者
- 内容/総合説明会・体験授業・キャンパスツアー  
個別相談・学食体験・AOガイダンス など
- 地下鉄東山線「一社」駅より無料送迎バスがあります

### 【お問い合わせ】

愛知東邦大学 入試広報課

TEL : 052-782-1600



# 東邦高等学校

普通科(文理特進・普通・人間健康)  
 美術科

美術科夏期講習会 7/27(月)、7/28(火) 両日とも9:00~15:00

普通科夏休み1日体験セミナー

8/4(火)、8/5(水) 9:00~11:30・13:00~15:30 両日午前、午後の2回開催

部活動見学会 8/28(金) 9:30~12:00

文化祭 9/26(土) 10:00~14:00

学校説明会 10/24(土)、11/14(土)

11/28(土) いずれも10:00~12:00

美術科デザイン講習会

10/31(土) 9:00~12:00

美術科説明会 10/31(土) 13:00~15:00

中学生英語スピーチコンテスト

11/1(日) 9:00~13:00

美術科・グラフィックデザイン卒業制作展

12/15(火)~20(日) 10:00~

美術科・グラフィックデザイン卒業制作展は愛知県美術館が会場となります。その他のイベントは全て東邦高校が会場となります。



【お問い合わせ】

東邦高等学校

TEL : 052-782-1171 (代)



## 高校・大学を会場に 「平和の丘春まつり」にぎわう

「名東の日」の5月10日、第20回「平和の丘春まつり」が、「人とまちと学園の輪が広がる!」をテーマに愛知東邦大学と東邦高校を舞台に開催されました。平和が丘学区、蓬来(よもぎ)学区の皆さんが運営の中心となり、午前10時から高校でのオープニングセレモニー続き、午後3時まで、吹奏楽演奏やダンスパフォーマンスなど盛りだくさんのプログラムが用意されて大にぎわいとなりました。

